

令和7年度 特別支援教育充実セミナー・発達支援関係職員実践研修 合同研修

演習・協議

～ 各地域におけるネットワークの充実 ～
(90分)

北海道発達障害者支援センターあおいそら

発達障害者支援道北サブセンターきたのまち

北海道発達障害者支援センター道東ブランチ ノット knot

演習・協議の流れ

- a. ガイダンス(10分)
- b. グループ協議(50分)
- c. 発表(20分)
- d. まとめ(10分)

a. ガイダンス

この時間のテーマ: 各地域におけるネットワークの充実

つまり 連携をどう行っていくか？



ただし連携は
目的ではなく
手段

- どんなときに必要？
- どういう効果が？
- どうやって？
- 何が障壁？

等々を共有し深める必要がある

グループ協議のテーマ

- ☑ 連携の必要性やメリットを感じたエピソード
- ☑ 連携して取り組んだ実践事例等のエピソード

を出し合い、共有しましょう

他者のエピソードや 淡い期待でもOK

グループ協議のガイド

※協議を進めづらい場合は下記の流れで協議を進めてみてください。

- 連携したことのある機関はありますか？
それはどこですか？
 - 聞いたことのない機関があれば、こういった役割の機関なのか積極的に質問してください。
- それはどんな事例・ケースでしたか？
- なぜ他機関とやり取りする必要がありましたか？
- どんな方法でしたか？
- どんなときに連携が必要になると思いますか？
- 連携したことがない場合、その理由はなんですか？

発表に向けて

※以下の点をまとめてください。

- 連携の必要性を感じるのはどのようなケースか？
どのような内容か？
- 連携した結果、どのような影響があったか？
- 連携をすることが難しいのはどのような場合か？
他機関と共有することをためらうのはなぜか？

b. グループ協議

[グループ協議の流れ]

- ① 自己紹介(氏名、所属)
- ② 役割決め → 進行と発表
- ③ 意見交換

C. 発表

- いくつかのグループに発表してもらいます。
- 時間次第ですが、複数グループにお願いします

[発表のルール]

- ① 発表者自己紹介(氏名、所属)
- ② グループで挙がった意見をまとめて発表

d. まとめ